

メキシコの政策金利引き上げについて

ポイント① 政策金利を6.75%に引き上げ

5月18日、メキシコ中央銀行は金融政策決定会合を開催し、政策金利であるオフィシャル・オーバーナイト・レートを0.25%引き上げ、年率6.75%とすることを決定しました。利上げは6会合連続となります。

今回の決定において、利上げを見込む市場参加者も少なからずいましたが、過半は、メキシコペソ相場の落ち着き等を背景に、政策金利の据え置きを予想していました。

ポイント② インフレ抑制を優先

同中銀は、声明において「経済成長に対するリスク・バランスは、引き続き低下方向」としながらも、今回の決定により、インフレ抑制を優先する姿勢を示しました。

4月のインフレ率は5.82%と引き続き上昇し、同中銀の目標上限の4%を上回りました。同中銀は、今後数か月のインフレ率はガソリン価格の自由化など一過性の影響を受け、結果として2017年のインフレ率は目標上限を大きく上回るものの、2017年末から2018年にかけて目標中心値の3%に収れんしていくとの見方を維持しています。

しかしながら、「同中銀が直面する主要な課題は、引き続き、一部品目の価格上昇が広範囲に波及する影響を回避し、中長期のインフレ期待を抑制することである」とし、今回の利上げを決定しました。

また、声明では米国の金融政策にも言及、「6月の決定において、政策金利レンジの引き上げが予想される」とするとともに、「メキシコと米国の間の相対的な金融ポジションの変化にも注意していく」と述べ、米国の金融政策も考慮に入れて、金融政策を運営していく姿勢も伺わせました。

ポイント③ メキシコペソは小動き

5月18日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、メキシコペソは対米ドルで前日比0.3%程度のメキシコペソ安、対円で同0.3%程度のメキシコペソ高となりました。

重要
イベント

6月8日	消費者物価指数（5月）
6月9日	鉱工業生産指数（4月）
6月22日	金融政策発表

図1：政策金利の推移

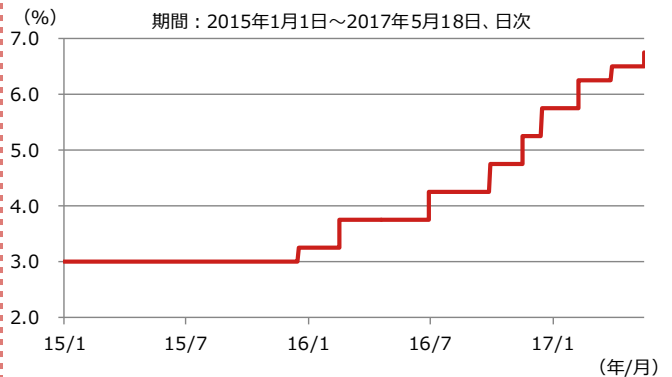


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

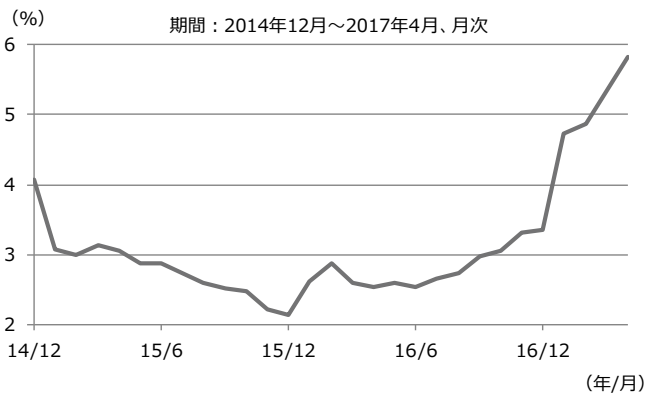


図3：為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成